

アンケート調査結果のポイント

1 回収状況について

対象者に応じて調査票 A・B・C の 3 種類に分けて実施。

* 調査票 A 配布数 3,688 通 / 回収数 1,733 通 / 回収率 約 47.0% (前回 回収率 約 40.4%)

* 調査票 B 配布数 299 通 / 回収数 119 通 / 回収率 約 39.8% (前回 回収率 約 33.6%)

* 調査票 C 配布数 299 通 / 回収数 103 通 / 回収率 約 34.4% (前回 回収率 約 35.4%)

回収率合計 約 45.6% (前回 39.0%)

インターネット回答率 5.9% (回収数 1,955 通 / インターネット回答数 117 件)

回答率の上昇については、今回調査より、インターネット回答を導入したことが一因であると考えている。

2 アンケート調査結果について

前回調査と比較すると、全体としては回答傾向に大きな変化は見られなかったが、その中でも変化が見られた項目については次のとおり。

(1) 相談支援体制について

相談に関する設問では、「どこに相談すればよいかわからない」とする割合に大きく改善がみられた。(A 問 13、B 問 16、C 問 12)

(2) 権利擁護センターの認知度について

今回新たに設けた権利擁護センターについての設問では、「知らない」と回答した割合が 82%~93%と高くなっている。(A 問 30、B 問 34、C 問 33)

(3) 障害福祉サービスの利用について

・今後の障害福祉サービス利用に係る設問では、各サービスにおいて「今よりも利用を増やしたい（新たに利用したい）」や「今と同じくらい利用したい」と回答した割合が、前回調査と比較して増加傾向となっている。(A 問 25 (2)、B 問 29 (2))

・サービス利用量の増加に伴い、「現在の生活に困っていることや不安に思っていること」の割合が減少傾向にある。(A 問 12、B 問 15、C 問 11)

(調査票 A では「介護サービスのこと」「相談できるところ(人)がないこと」など、調査票 B では「介護者の負担が大きい」「親が亡くなったあとのこと」など、調査票 C では「介護サービスのこと」「親などの介護者がいなくなった時のこと」などが減少)